

■主な内容

- P2 忘れず検診・早期に発見
- P4 Kyotanabe 魅力・発見バスツアー
- P4 椿本チエインの工場見学
- P8 熱中症に気を付けよう

発行/京田辺市 〒610-0393 京都府京田辺市田辺 80 ☎(0774) 63-1122 FAX (0774) 63-4781 ㊟ http://www.kyotanabe.jp/

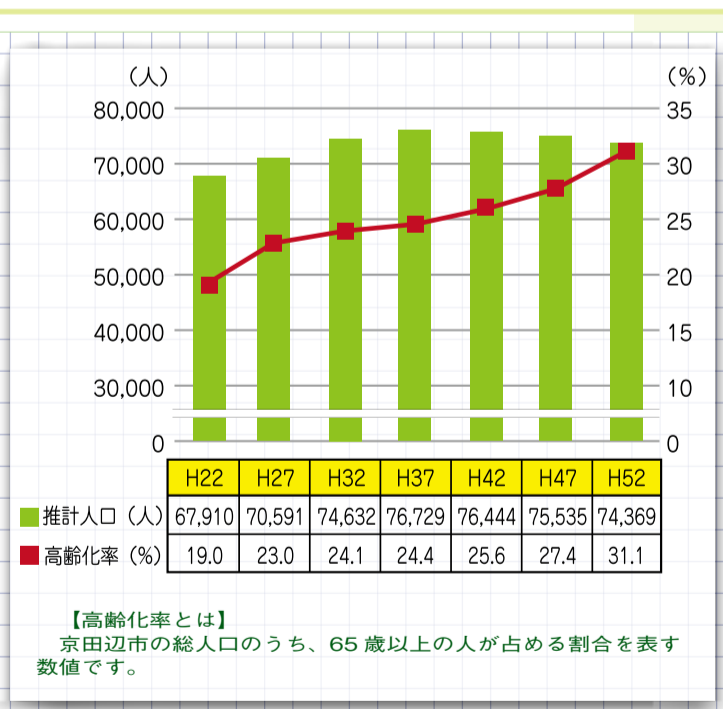
広報「京たなべ」の題字は、石井市長が未来へ向かって発展する力強い京田辺市をイメージして書きました。



おいしいお米にな～れ 普賢寺 幼・小連携事業で田植え体験

6月16日、普賢寺幼稚園・小学校は、幼・小連携事業の一環として、田植え体験を行いました。参加したのは、幼稚園の全園児と、小学校からは5年生。地域の協力で600㎡の田んぼが準備され、みんなで稲を植え付けました。苗は、「満月もち」と呼ばれるもち米で、10月の収穫の後、給食などで振る舞われます。

ぬるぬるとした泥の感触が気持ち良いのか、次々にどろんこ姿になる子どもたち。農作業を楽しく体験しました。



市は、将来の人口変動と社会環境の変化を適切に把握し、今後のまちづくりの基礎資料とするため、平成22年度の国勢調査の人口を基準に、将来人口推計を行いました。

昨年、国の社会保障・人口問題研究所が、全国自治体の今後30年間の将来人口推計を発表しましたが、今回の調査では、山西や同志社山手などの大規模開発による人口流入という地域の特殊要因を市独自に加味して推計しました。

人口推計から見る未来の京田辺 子育て世代を中心に増加続く

その結果、全国や京都府下で多くの自治体が人口減少に転じている中、本市では大規模開発に伴う子育て世代を中心とした人口流入が続く、今後も順調に増加し、平成37年に約7万7千人に達した後、緩やかな減少に転じると予想されます。

また、年齢区別の構成比では、14歳までの年少人口は10パーセント前後で、15～64歳の生産年齢人口は、60パーセント前後で推移します。一方、65歳以上の老年人口は年々増加し、平成52年には30パーセントを超えて、市民の約3人に1人が高齢者になると予想されました。

企画調整室 (☎64・1320)

京田辺市独自制度 子ども医療費の助成拡大 中学校3年生まで対象に

市は、子どもたちの健やかな成長と、子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、独自制度として子育て支援医療費助成の対象を中学生まで拡大します。

現在、入院外(外来)の医療費助成の対象は小学校6年生までですが、8月からは中学生も含まれます。新たに対象となる人には、受給者証を7月末に郵送します。

【追加となる対象者】
平成11年4月2日～同14年4月1日に生まれた人
【問合せ先】
子育て支援課 (☎64・1376)

追加

入院外の医療費助成
中学校3年生まで拡大

0歳～小学校6年生
中学生